



# 問題の所在



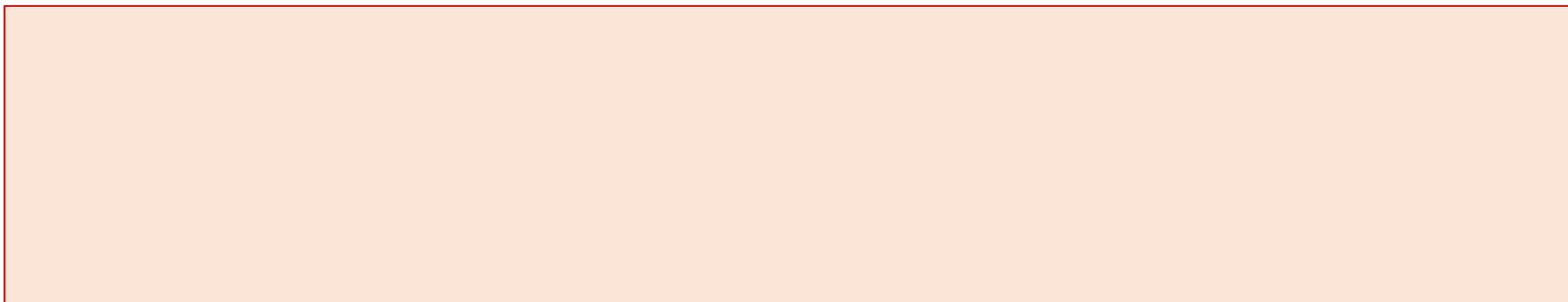


	90	12		
	2			

24 5 360  
5 120 5  
90 1 180 240  
360 180 90 5



^



# 研究の目的



# 研究の方法



## 3.1.

- 

- 

- 

表1



表 対象者の属性

メンバー	年齢	性別	教職経験年数	分担
A校W教師	25	女	2年	授業者
A校B教師	25	男	1年	授業者
A校F教師	35	女	10年	観察者
B校P教師	25	男	2年	授業者
B校S教師	24	女	1年	授業者
B校T教師	40	男	16年	観察者
B校Y教師	40	女	16年	観察者
B校L教師	46	男	21年	観察者

# 研究の方法



3. .



表2 授業研究の実施及びデータの収集

学校	実施内容	実施時間		研究テーマ		データ収集
		1期目	2期目	1期目	2期目	
A 小学	研究テーマ事前研修会	2015. 12.2	2016. 3.2	1-2年生 縄跳び の練習 方法の 有効性	1-2年生 サッカー の練習 方法の 有効性	なし
	指導案事前研修会	2015. 12.9	2016. 3.9			反省 日記
	1回目の授業実施及び 協議会	2015. 12.16	2016. 3.16			反省 日記
	2回目の授業実施及び 協議会	2015. 12.23	2016. 3.23			反省 日記
B 小学	研究テーマ協議会	2015. 11.10	2016. 3.10	1-2年生 障害走 の練習 方法の 有効性	1-2年生 バスケットボール の練習 方法の 有効性	なし
	指導案協議会	2015. 11.17	2016. 3.17			反省 日記
	1回目の授業実施及び 協議会	2015. 11.24	2016. 3.24			反省 日記
	2回目の授業実施及び 協議会	2015. 12.1	2016. 3.31			反省 日記



# 研究授業・映像



**A**



1

2

3

• 2

2

• 2

1 1 1

• 2

1 1  
2

1 6

2

•

1 2

2

• 2

3

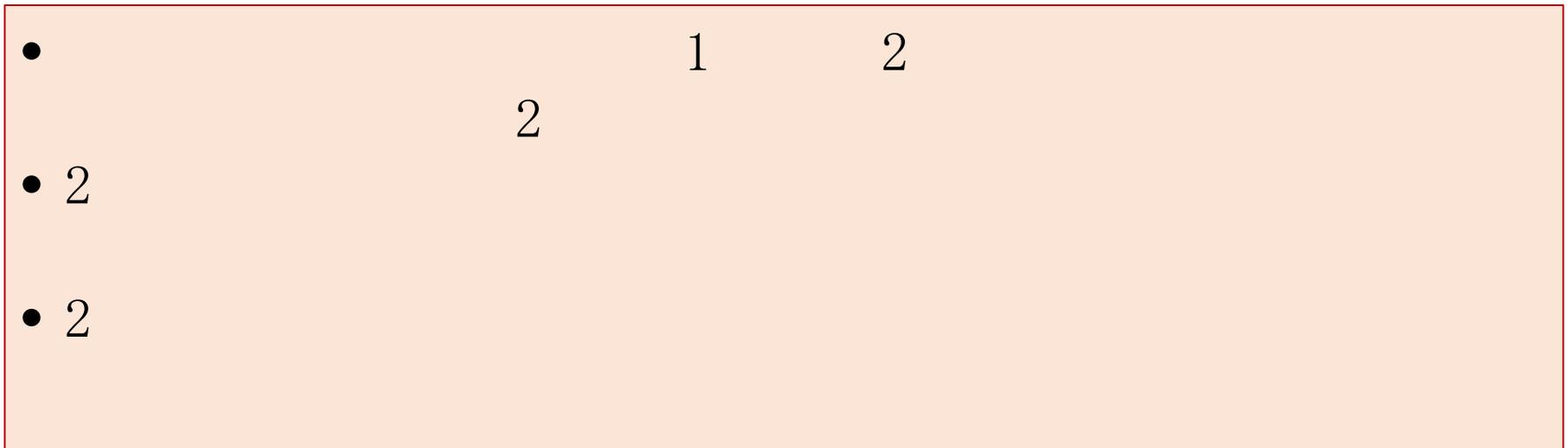
• 2

2

1



**B**





### 3. .

- 

-



3. .

# 結果と考察



## 反省レベルの変化

Sparks-Langerら (1990)

表3

		英語表記
1		no descriptive language
2		simple, layperson description
3		events labeled with appropriate terms
4		explanation with tradition or personal preference given as the rationale
5		explanation with principle or theory given as the rationale
6		explanation with principle/ theory and consideration of context factors
7		explanation with consideration of ethical, moral, political issues



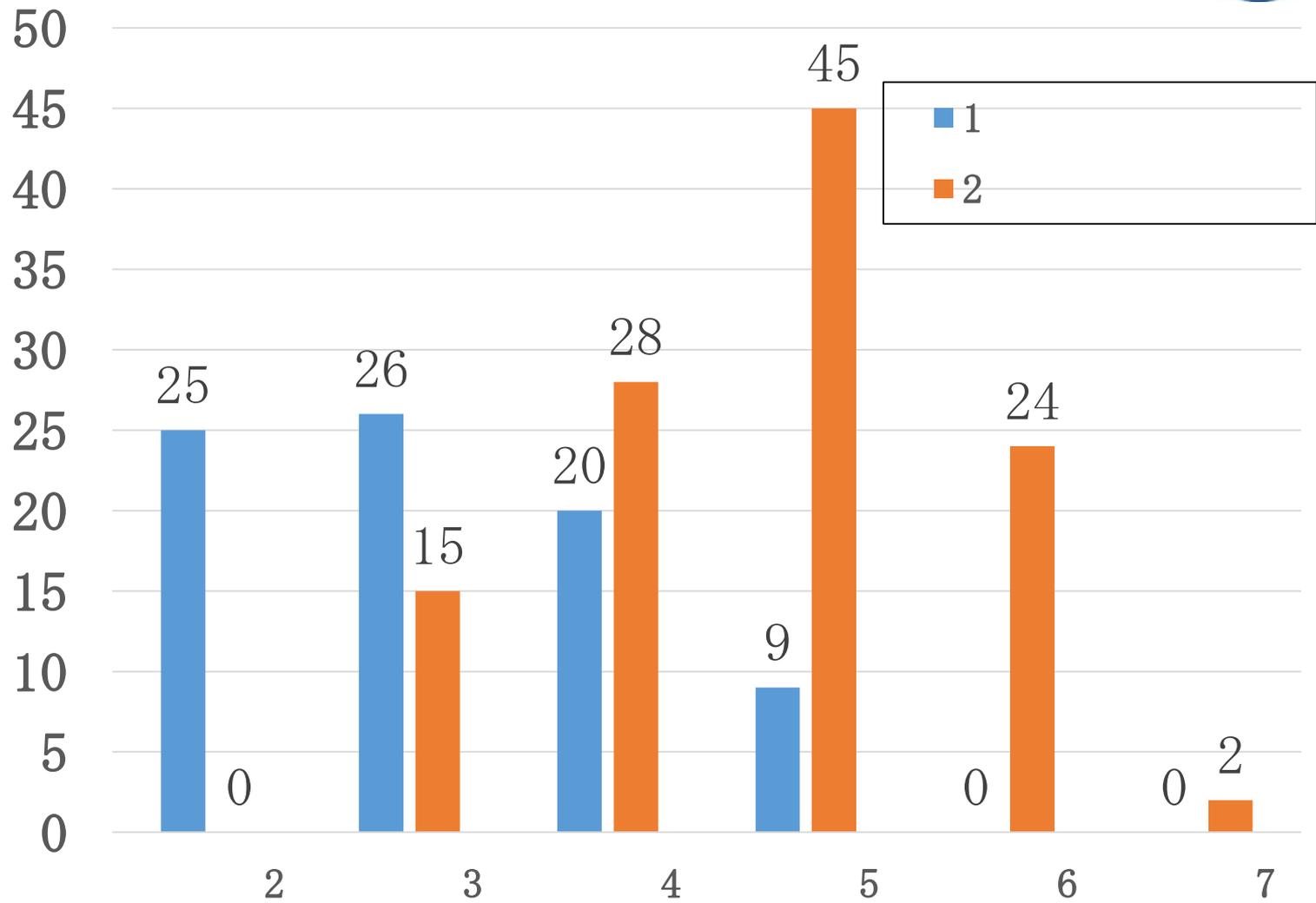


図1 全体的に反省レベルの変化

# 結果と考察



## 反省レベルの変化



# 結果と考察



## 反省レベルの変化





表4 Paired-Samples T test結果

対象	反省レベルの得点	
	期目	期目
B教師		
W教師		
P教師		
S教師		
N		
M		
Standard Deviation		
Standard Error of Mean		
t		
P		

# 結果と考察



## 反省レベルの変化

しかし、1期目、2期目両方とも、全体的に反省レベルが低いといえる。

→初任者体育教師が十分な時間を確保して研究授業を省察し、反省日記を書くための時間保証が難しいことや、初任の体育教師が全体的に研究授業の省察に関わる理論や知識を十分に持っていないことが、その結果を生む要因であると推察された。

# 結果と考察



## 反省内容の変化

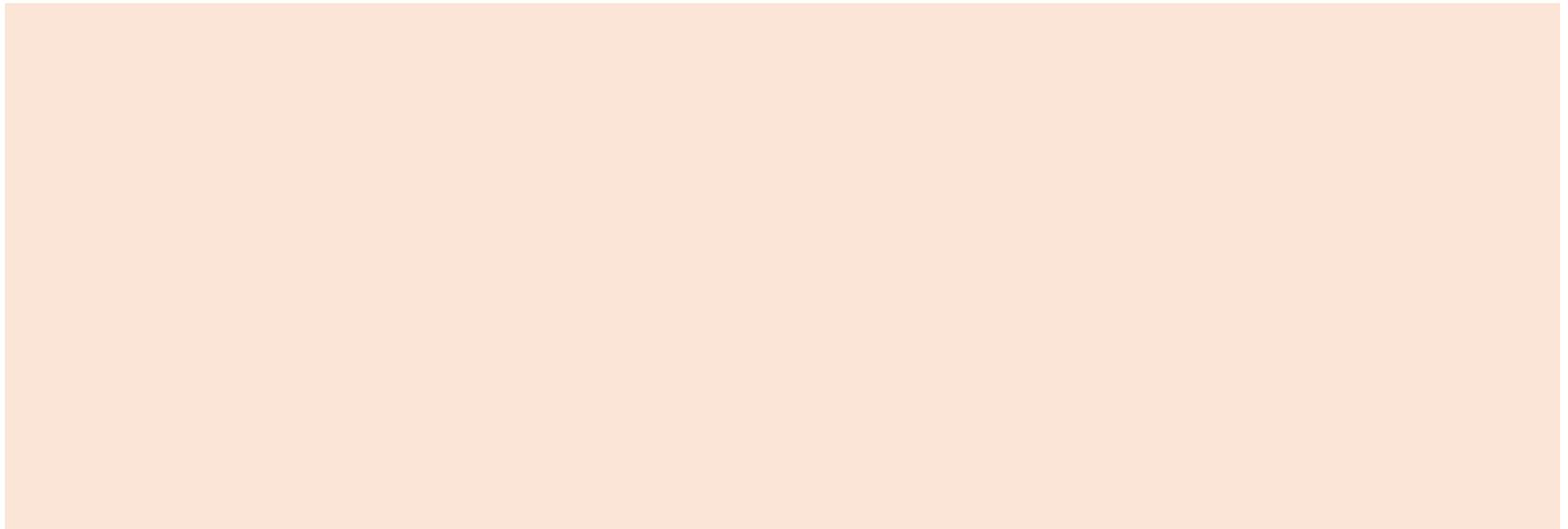




表5 カテゴリー分類(実数 個, 割合 %)

	1期目			2期目		
	大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー	大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー
B教師						
W教師						
P教師						
S教師						
合計						

# 結果と考察



## 反省内容の変化



# 表6 反省内容のカテゴリー分類

反省内容(実数 個, 割合 %)

	B	B	W	W	P	P	S	S
	1期目	2期目	1期目	2期目	1期目	2期目	1期目	2期目
1.授業 デザイン	5 (33.3)	2 (10.5)	8 (57.1)	2 (8.0)	4 (36.3)	4 (21.1)	3 (13.6)	2 (9.5)
2. 授業における 教師の行為	3 (20.0)	9 (47.4)	3 (21.4)	11 (44.0)	4 (36.3)	9 (47.4)	13 (59.1)	10 (47.6)
3. 子どもの実 態を踏まえた 教師の行為	0	1 (5.3)	1 (7.2)	5 (20.0)	0	1 (5.2)	0	1 (4.8)
4. 授業に おける 子どもの実態	1 (6.7)	2 (10.5)	2 (14.3)	3 (12.0)	1 (9.1)	4 (21.1)	1 (4.6)	5 (23.8)
5. 成果	6 (40.0)	2 (10.5)	0	0	0	0	2 (9.1)	1 (4.8)
6. 授業と 直接に 関係なし	0	3 (15.8)	0	4 (16.0)	2 (18.2)	1 (5.2)	3 (13.6)	2 (9.5)
合計	15(100)	19(100)	14(100)	25(100)	11(100)	19(100)	22(100)	21(100)





ご静聴ありがとうございました

